

土木学会全国大会 2012

映画会 研究討論会

土木技術映像委員会では、広島大学・東北大学・福岡大学・北海道大学・愛媛大学に引き続き、名古屋大学において3日間連続で映画会を開催致します。研究討論会テーマ「土木学会東日本大震災アーカイブサイトの展開—災害記録映像・写真・書誌データを一元管理・公開する—」と連動し、東日本大震災の未曾有の被災を踏まえ、これまでに多数収集・評価された、土木学会映画コンクール受賞作品や土木学会選定映像作品の中から、災害記録映像を中心に、「土木のこころ」に触れる映像を含めた19作品を上映致します。

映画会

災害特集
— 東日本大震災・地震・風水害・東海地区災害 —



「土木のこころ」特集
— 作家 田村喜子先生追悼 —



研究討論会

土木学会東日本大震災アーカイブサイトの展開
— 災害記録映像・写真・書誌データを一元管理・公開する —

座長 大野春雄（東日本大震災アーカイブ特別委員会副委員長・土木技術映像委員会委員長）
話題提供者：国土交通省東北地方整備局前企画部長 川嶋直樹 / 日本大学理工学部社会交通工学科准教授 阿部貴弘（土木遺産被害調査）
仙台放送Dプロジェクト局企画制作部長 森本伸雄（震災と証言の記録映像） / 東北大学附属図書館（特別委員会委員・土木図書館委員会委員）米澤 誠（東北大学震災アーカイブ） / 防災科学技術研究所総合防災研究部門主任研究員 長坂俊成（ALL311）
/ 東北大学防災科学国際研究所准教授 柴山明寛（東北大学みちのく震録伝）

9/5	(水)	10:00~15:00	映画会
		16:15~18:15	研究討論会
9/6	(木)	10:00~12:30	映画会
9/7	(金)	10:00~15:35	映画会



※多数の貴重な映像を上映致します。詳細は裏面の上映スケジュールをご参照ください。

平成24年度 土木学会全国大会2012（名古屋大学東山キャンパス）

全国大会映画会テーマ：災害特集（東日本大震災、地震、風水害）・東海地区災害（風水害）

土木のこころ特集 作家 田村喜子先生追悼（土木をテーマに多くの作品を執筆 2012年3月24日急逝。享年79歳）

● 映画会・上映スケジュール 日程：2012年 9月 5日～7日 場所：IB電子情報館 IB-O11（総合受付前）

作品No	上映日	上映開始時間	上映時間	上映作品	制作年
—		10:00		開会のご挨拶 土木技術映像委員会委員長 大野春雄	
1	9/5 (水)	10:05	22分	昭和34年 伊勢湾台風 土木学会選定映像 昭和34年（1959年）9月26日、伊勢湾台風の緊急対策、災害復旧等をまとめている。	2009年
2		10:27	30分	木曾三川～水と人間の歴史～ 第一部・水とのたたかい 土木学会選定映像 河川の流域の未来に自然をどのように生かしたらよいかを、永遠のテーマとして投げかけている作品である。	1987年
3		11:00	16分	忘れない、東海豪雨 第24回映画コンクール優秀賞 都市型水害のさきがけとなり、防災対策への教訓や災害への備えの重要性を伝えて、特に都市地域住民の方々の防災教育などの機会での活用が期待される作品である。	2010年
4		11:20	21分	三六災害から50年 土木学会選定映像 日本の災害史に残る「三六災害」から50年。改めて災害の実態を検証し、被災体験から学んだ多くの教訓を風化させることなく継承し、今後の防災対策の強化を図るため、記録映像とインタビューで綴る作品である。	2011年
5		11:45	12分	恵南豪雨災害 土木学会選定映像 平成12年（2000年）9月11日～12日の集中豪雨により発生した中山間部型水害「恵南豪雨災害」の記録映像で、地域等での防災意識の啓蒙や教育の機会などで活用されることが期待される作品である。	2010年
6		12:00	37分	福井豪雨映像アーカイブス 土木学会選定映像 平成16年7月18日未明に福井県を襲った豪雨の記録。河川や 防災の専門家に、そしてこのような地域にすむ一般住民には是非繰り返し見てもらいたい一級の映像資料であり、作品である。	2008年
—		12:40		ご挨拶 土木技術映像委員会	
7		12:45	32分	昭和49年(1974年) 多摩川狹江市猪方地先 災害復旧記録 土木学会選定映像 大規模な堤防決壊災害の発生に際し、どのような対応が図られ実施されたかの事実を詳細に記録した作品である。	2005年
8		13:20	27分	復旧の軌跡 —阪神・淡路大震災土木施設の災害記録— 土木学会選定映像 阪神・淡路大震災による土木施設の被害と復旧にテーマを絞った他にあまり類を見ない作品である。	1998年
9		13:50	6分	「三陸の奇跡」と「命の道」 ～東日本大震災から学びました～ 土木学会選定映像 釜石東中学校と鶴住居小学校の生徒が、自分たちの言葉で地震発生直後の出来事を語っている。「てんでんこ」の実践事例として貴重な映像。開通直後の「釜石山田道路」が「命の道」として機能したことも指摘されている。	2012年
10		14:00	8分	「東日本大震災」の初動対応 東北地方整備局の3日間 土木学会選定映像 東北地方整備局の初動対応について、国道4号等から救援ルートを開闢する「くしの歯作戦」、機械の配備、リ工ソソ派遣、物資調達や復旧のための調整などを、防災ヘリによる津波映像を冒頭に織り交ぜ、短時間に紹介する。	2011年
11	14:10	50分	東日本大震災、現場の戦い 土木学会選定映像 「啓蒙」「地域支援」「防災教育」の現場の映像から構成。現場の土木技術者・従事者の決断と戦い、緊急時の組織の姿、持続的な防災教育の重要性を撮影した貴重な作品であり、次代への財産として残したい。	2012年	
—	15:00		第1日目 上映会終了		
—	16:15		研究討論会「土木学会東日本大震災アーカイブサイトの展開 災害記録映像・写真・書誌データを一元管理・公開する」 会場：工学部2号館 2 241 座長 大野春雄（東日本大震災アーカイブ特別委員会副委員長・土木技術映像委員会委員長） 話題提供者：国土交通省東北地方整備局前企画部長 川嶋直樹 / 日本大学理工学部社会交通工学科准教授 阿部貴弘（土木遺産被害調査） / 仙台放送Dプロジェクト局企画制作部長 森本伸雄（震災と証言の記録映像） / 東北大学附属図書館（特別委員会委員・土木図書館委員会委員） 米澤 誠（東北大学震災アーカイブ） / 防災科学技術研究所総合防災研究部門主任研究員 長坂俊成（ALL311） / 東北大学防災科学国際研究所准教授 柴山明寛（東北大学みちのく震録伝）		
—	18:15		第1日目 終了		

作品No	上映日	上映開始時間	上映時間	上映作品	制作年
—		10:00		ご挨拶 土木技術映像委員会	
12	9/6 (木)	10:05	40分	21世紀の架け橋 —第二名神高速道路木曾川橋・揖斐川橋— 第20回映画コンクール準優秀賞 第二名神高速道路 木曾川橋・揖斐川橋 -世界初のPC・鋼複合連続エクストラードロード橋建設の記録。	2001年
13		10:50	30分	木曾三川～水と人間の歴史～ 第一部・水とのたたかい 土木学会選定映像 河川の流域の未来に自然をどのように生かしたらよいかを、永遠のテーマとして投げかけている作品である。	1987年
14		11:25	27分	復旧の軌跡 —阪神・淡路大震災土木施設の災害記録— 土木学会選定映像 阪神・淡路大震災による土木施設の被害と復旧にテーマを絞った他にあまり類を見ない作品である。	1998年
15		12:00	22分	昭和34年 伊勢湾台風 土木学会選定映像 昭和34年（1959年）9月26日、伊勢湾台風の緊急対策、災害復旧等をまとめている。	2009年
16		12:20	6分	「三陸の奇跡」と「命の道」 ～東日本大震災から学びました～ 土木学会選定映像 釜石東中学校と鶴住居小学校の生徒が、自分たちの言葉で地震発生直後の出来事を語っている。「てんでんこ」の実践事例として貴重な映像。開通直後の「釜石山田道路」が「命の道」として機能したことも指摘されている。	2012年
—		12:30		第2日目 終了	

作品No	上映日	上映開始時間	上映時間	上映作品	制作年	
—		10:00		ご挨拶 土木技術映像委員会		
17	9/7 (金)	10:05	24分	余部鉄橋の記憶 土木のこころ特集 作家 田村喜子先生追悼 第23回映画コンクール部門賞（一般部門） 100年もの間日本海の厳しい風雪に耐えてきた鉄橋の歴史を軸に、そこに展開された人間ドラマや四季折々の美しい映像を織り交ぜながら、余部鉄橋の有終の美を貴重な土木遺産として記録・表現した作品である。参考文献:田村喜子著「余部鉄橋物語」	2007年	
18		10:30	20分	余部橋りょう さらなる100年へ 土木のこころ特集 作家 田村喜子先生追悼 第24回映画コンクール最優秀賞 2007年3月着工後、過酷な自然環境のもと、営業線を行きながら新橋を構築し、2010年8月12日に新たに生まれ変わるまでの工事の記録である。参考文献:田村喜子著「余部鉄橋物語」	2010年	
19		10:50	86分	明日をつくった男 —田辺明郎と琵琶湖疏水— 土木のこころ特集 作家 田村喜子先生追悼 第21回映画コンクール最優秀賞 原作：田村喜子著『京都インクライン物語』理想に燃えた若き土木技術者 田辺明郎が難工事を克服する過程をドラマ化し、アニメーションやCG、記録映像を巧みに織り込みながら描いている作品である。	2003年	
20		12:20	12:25	56分	アフガンに命の水を 土木のこころ特集 第24回映画コンクール最優秀賞 ラストシーンで現地の人々と喜びを分かち合う瞬間が映し出される映像は、命を守り生活を支える土木技術者の魂を伝えるものであり、大地の医師と呼ぶにふさわしい内容である。	2009年
21		13:25	30分	首都高速道路を守れ —疲れきり3000日の軌跡— 第23回映画コンクール部門賞（技術映像部門） 総延長283km（2005年現在）の首都高速道路の鋼製橋脚において1997年に500基を超える多数のき裂が発見された。以降8年間に渡る金属疲労き裂に対する補修・補強対策を究明に記録した作品である。	2008年	
22	14:00	20分	阪神大震災による道路の被災と復旧 第17回映画コンクール準優秀賞 阪神・淡路大震災の道路の生々しい被災状況を震災直後に調査・収録している。	1995年		
23	14:25	17分	崩れ 大地のいとなみと私たち 第22回映画コンクール部門賞 前半では特に立山カルデラに発する常願寺川の災害の恐ろしさをCGによる迫力ある映像でとらえ、後半では崩壊に直面する日本の宿命を随筆『崩れ』に記した幸田文を取り上げて紹介している。	2006年		
24	14:45	50分	東日本大震災、現場の戦い 土木学会選定映像 「啓蒙」「地域支援」「防災教育」の現場の映像から構成。現場の土木技術者・従事者の決断と戦い、緊急時の組織の姿、持続的な防災教育の重要性を撮影した貴重な作品であり、次代への財産として残したい。	2012年		
—		15:35		第3日目 終了		